

令和四年三月四日開会

令和四年度池田町一般会計予算、特別会計予算

並びに企業会計予算提案説明要旨

令和四年度の町政に取り組む施政方針及び一般会計・特別会計並びに企業会計についてご説明申し上げます。

令和元年度から続く世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大によって、日本においては「東京二〇二〇オリンピック・パラリンピック」が一年延期、開催されました。また、北京冬季オリンピックでは本町出身の堀島行真選手がリースタイルスキー モーグル男子において銅メダルを獲得し、多くの町民に夢と希望を与えていただきました。岐阜県では一月中旬からオミクロン株の流行の下、「まん延防止等重点措置区域」の指定を受け、本町においても、「池田町『第六波』非常事態宣言」を発出し、感染防止対策の徹底に全町体制で取り組んでいるところですが、また、イベント開催の自粛要請及び学級閉鎖などを余儀なくされ、地域社会・地域経済は厳しさを増しています。先行きが見通せない状況ではありますが、現在三回目の追加接種、十二歳到達者等の一、二回目接種に万全を期すとともに、引き続きコロナの収束、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現、地域デジタル社会・カーボンニュートラルの推進、防災・減災、国土強靱化の推進の実施など、切れ目のない対策を迅速確実に行ってまいります。

こうした中、本町においては人口減少が深刻化しており、それに付随する町の機能低下が懸念されています。人口の減少は、町の活力を失うことにも繋がりがかねないため、今後は人口が減少しても、町の機能を維持し、活力を損なわない、持続可能な地域社会を構築することが求められます。

令和四年度においては、町の将来像「ぬくもりあふれるまち 池田町 くふれあいが未来を育む、人と人がつながり合い成長する都市へ」の実現を目指す、第六次総合計画の三年目となる年です。厳しい財政状況の中、長期的な視点を持ちつつ、「選択」と「集中」による予算配分を行い、喫緊の課題にも対応

し、公共施設の老朽化対策・適正配置や民営化・指定管理者制度の活用など、町の活性化に資する事業を積極的に展開していく方針です。

なお、町全体としまして、総合計画の五つの基本理念「未来」「元気」「活気」「快適」「経営」を念頭に置き、将来を見据えてよりよいまちづくりを進めてまいりますので、議会におかれましてもご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、本町の令和四年度予算規模についてですが、

一般会計	九十四億	五千万円
国民健康保険特別会計	二十一億九千九百万円	
後期高齢者医療事業特別会計	三億三千八百万円	
農業集落排水事業特別会計	三億	八千万円
公共下水道事業特別会計	七億一千	百万円
温泉施設特別会計	二億	六千万円
小水力発電事業特別会計		八百万円

で、総額百三十三億四千六百万円の前年度対比六億一千八百万円（四・九％）増の予算といたしました。それでは、町の重要施策と予算の概要についてご説明申し上げます。

初めに一般会計についてご説明申し上げます。

歳入について、町税のうち町民税では、国税の収入状況や令和三年度の決算見込等を踏まえ、個人分で見込増が見込まれ、固定資産税についてはほぼ横ばいであるものの、軽自動車税及び町たばこ税で増加を見込み、町税全体では前年度対比で〇・七％増の二十八億七千二百三十四万四千円を計上しました。

地方交付税につきましては、国における地方財政計画の増減率及び前年度実績を勘案し、普通交付税については前年度対比八・八％増の十八億五千万円、特別交付税については前年度と同額の一億六百万円を計上しました。

寄附金につきましては、前年度対比十二・四％増の五億二百五十九千円を計上しました。そのうち、ふるさと納税につきましては前年度対比十二・五％増の五億円を見込んでいます。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金で二億五千万円、ふるさと支援まちづくり基金繰入金で一億円を計上しました。

町債につきましては、庁舎受変電設備及び空調設備整備の実施に伴い事業債が増加することにより、前年度対比三・二％増の七億三千五百四十万円を計上しました。

それでは、歳出について申し上げます。

総務部において、総務および消防防災関係では、庁舎受変電設備及び空調設備改修工事や庁舎LED照明取替工事を実施し、庁舎の防災強化や脱炭素化の取り組みを進め、また、消防団の報酬を見直し、処遇改善に努めてまいります。これらに関する予算として十一億七十一万九千円を計上しました。

公共交通関係では、養老線の支援を引き続き行い、一般社団法人養老線管理機構に対し負担金や補助金にて支援し、新たに本年四月より養老鉄道にて通学する高校生を対象に、通学定期券の購入助成を行い利用を促してまいります。その他養老線利用促進事業によるマイレールチケット21の助成についても引き続き行ってまいります。昨年七月より開始したタクシー利用助成事業は年間を通して行い、コミュニティバスの運行は今までのとおり無料を継続し、利用者が目的に応じ選択ができるようにしてまいります。

ふるさと納税につきましては、町のPR、産業の活性化、貴重な財源の確保として本年度実績を上回れ

るよう積極的に取り組んでまいります。その他、企業誘致をはじめ、まちづくり事業、移住定住推進事業など複合的に取り組んでまいります。

また、これらの事業を町内外にPRするためマスコミなどを活用した広報活動も積極的に行います。これらに関する予算として七億七千九百八十七万四千円を計上しました。

税務関係では、町税等賦課事務電算業務委託事業及び地方税共通納税システム事業に一千六百八十六万九千円、土地家屋の現況調査委託事業及び標準宅地鑑定委託事業に一千六百九十九万円を計上しました。

次に民生部において、戸籍住民関係では、戸籍・住民記録・印鑑の届出や証明書の発行、個人番号カードのコンビニ交付システム導入委託料、住民基本台帳ネットワークシステムの運用など、これらに関する予算として三千九百五万一千円を計上しました。

環境関係では、一般廃棄物処理基本計画に基づき、北部と南部のリサイクルセンター両施設を拠点として、ごみの減量化と資源化を一層進めてまいります。また、国の地域脱炭素移行・再生可能エネルギー推進交付金を活用し、住宅への太陽光発電設備及び蓄電池設備の設置に対する補助事業を新たに実施してまいります。これらに関する予算として三億七千四百五十二万一千円を計上しました。

社会福祉関係では、障がい者の介護支援や就労支援を行う自立支援給付事業、障がい児の発達支援や放課後等デイサービス事業を行う障害児福祉サービス事業、十八歳以下の子どもや重度心身障害者等の医療費を負担する福祉医療扶助事業など、これらに関する予算として八億六千四百七十九万円を計上しました。

児童福祉関係では、少子化対策として、すくすく赤ちゃん券支給事業、放課後児童クラブや児童館の運営事業、子育て世帯就労応援事業、新たに保育園児の給食費にかかる負担を支援する園児給食費無償化事業などに取り組んでまいります。これらに関する予算として、十二億六千七百七十五万円を計上しました。

高齢福祉関係では、七十九歳以上の方を対象とした敬老の日記念事業など行い、介護保険関係では、揖斐広域連合より受託し全高齢者を対象とした一般介護予防を含め介護予防・日常生活支援総合事業を実施してまいります。後期高齢者医療関係では、岐阜県後期高齢者医療広域連合への医療給付費等に係る負担金など、これらに関する予算として七億三千四百七十一万四千円を計上しました。

母子保健関係では、妊婦健診と産婦健診の受診票を交付し、安全な出産と産後の母子に対する支援体制の整備を継続してまいります。また、家族等から十分な育児等の支援が得られず、心身の不調や育児不安等を抱える出産後一年以内の母子を対象に助産師による訪問で心身のケアや育児サポート等を行い、母子とその家族が健やかに生活できるよう支援体制の充実を図ってまいります。これらに関する予算として、二千百四十六万一千円を計上しました。

成人保健関係では、がん患者の医療用補正具である医療用ウィッグと乳房補正具の購入費を助成することにより、がん患者の治療と就労、社会参加等との両立を支援し、療養生活の質の向上を図ってまいります。これらに関する予算として二千二百九十六万四千円を計上しました。

予防事業関係では、任意予防接種のうち、生後六か月から中学三年生のインフルエンザと幼児のおたふくかぜ等にかかる費用を一部助成し、感染症予防を推進するとともに、経済的負担の軽減及び子育て支援体制を充実させてまいります。これらに関する予算として五千八百八十六万三千円を計上しました。

新型コロナウイルスワクチン接種事業では、予防接種法に基づく臨時接種として実施することとされている新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について、十二歳到達者等の一、二回目接種と二回の接種完了者が三回目の接種を受けられるよう、医師会等と調整を図りながら、集団接種と個別接種を並行して実施し、安全安心な接種機会が提供できるよう体制の整備を継続してまいります。これらに関する予

算として、七千三百四万二千円を計上しました。

次に建設部において、農業振興関係では、全国的な農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増大など、地域営農の担い手となる農民生産者の育成・確保、農地の集積・集約化は喫緊の課題であります。本町の根底を担う基盤産業を守るため、県や農協と連携し、茶業従事者の技術向上及び後継者育成、耕作放棄地対策を進めてまいります。また、担い手農家等への機械導入助成や、新規就農者支援を行ってまいります。さらに、農道や水路などの地域資源を守る環境保全を推進してまいります。これらに関する予算として一億六千九百五万四千円を計上しました。

林業振興関係では、池田の森地内での広葉樹の植栽や椎茸菌打ち体験事業を実施し、森林環境を守るための啓発活動を引き続き行ってまいります。また、森林環境譲与金や清流の国ぎふ森林環境税を活用した、霞間ヶ溪登山道の改修や、ふれあい街道沿いの伐採事業を実施し、これらに関する予算として四千六百十四万八千円を計上しました。

観光振興関係では、昨年より実施しております、大津谷公園キャンプ場有料化実証実験業務を今年の六月まで継続実施し、一年間通した実証実験を行ってまいります。またコロナ禍においても観光客の増加を目指し、ドライブインシアターの開催や温泉ガストロノミーウォーキングの実施をしてまいります。また、広域観光に於いては、「西美濃広域観光推進協議会」や「西美濃夢源回廊協議会」での取組を活用して、中京・関西方面などの旅行会社などへの観光PR活動も実施してまいります。これらに関する予算として六千四百十三万三千円を計上しました。

農業農村整備関係では、県営事業での農業用施設の補修・改良を進め、団体営農、県単事業などの補助金を受け、橋梁点検、農道整備、かんがい排水事業を進めてまいります。これらに関する予算として一億

五千三十三万五千円を計上しました。

林道関係では、県単池田明神線開設工事、維持工事を引き続き実施してまいります。これらに関する予算として六千四百八十七万三千円を計上しました。

土木関係では、充実した生活基盤の整備を目指し、町道や河川の整備・維持管理を図ってまいります。社会資本整備総合交付金事業、公共施設等適正管理推進事業、道路メンテナンス事業、緊急浚渫推進事業など、交付金並びに起債を活用し、社会基盤施設の長寿命化を進めてまいります。地籍調査関係では、藤代Ⅰ、Ⅱ地区を引き続き行い、新規に藤代Ⅲ地区の事前調査を進めてまいります。近年増え続ける空き家の対策として、空き家等対策計画を基に効果的な施策を展開すると共に、危険空き家等の除却に補助制度を活用し、実効性のある対策を実践してまいります。これらに関する土木費予算として四億二千二百二十三万九千円を計上しました。

道の駅池田温泉関係では、開駅から約十年八ヶ月が経つ中、イメージアップを図るためのリニューアルを活かし、家族で楽しめる芸術系のイベントをはじめ、池田温泉や池田町内外の諸団体・機関との連携イベントの実施、各メディアやSNSなどを活用した様々な情報発信により、町の観光拠点、地域振興施設としての役割を充実させ、年間三十五万人の利用者数を目指します。これらに関する予算として三千三百九十三万八千円を計上しました。

次に教育委員会において、学校教育関係では、小中一貫した福祉教育及び外国語活動並びに中高連携したキャリア教育に取り組みます。また、児童生徒一人一台パソコンを利用した授業について研修、実践に取り組みと共に、小学校の入学お祝い金制度を継続して実施し、子育て世代を支援してまいります。

また、本年度より、通学路の安全対策の一環として、防犯カメラの設置事業五カ年計画の初年度として

実施するとともに、学校安全総合支援事業を県より受託し、小・中・高等学校並びに地域と連携した学校防災等について調査研究を実施してまいります。

外国語活動推進事業として、外国語講師の派遣、英語活動支援員の配置、英語合宿を実施し、英語教育を推進します。また、小中学校に特別支援学級支援員や特別支援アシスタントを配置する特別支援教育支援事業・少人数学級支援事業を継続してまいります。さらに、学校間交流事業として、視野を広げられるよう、インターネット環境を利用した交流以外にも、学校間移動に伴う人流による意見交換会を行ってまいります。

小学校の改修工事としては、温知小学校エレベーター機能改善工事等、中学校では体育館及び校舎の消防設備修繕工事等を実施します。また、学校給食費については、小学校六年生及び中学校三年生の給食費無償化を継続すると共に、多子世帯学校給食費の無償化も継続し子育て世代を支援してまいります。これら学校教育に関する予算として六億九千三百三十四万一千円を計上しました。

生涯学習関係では、経年劣化の激しい宮地公民館受電設備を更新し、安全な施設管理に努め、中央公民館や地区公民館等で二百十二の講座・教室を開催して、町民の生涯学習振興を図ります。青少年関係では、青少年育成推進員・少年補導員等による、子どもたちの安心安全な育成を進めてまいります。

文化財保護関係では、郷土資料の収集、調査等を進めてまいります。これらに関する予算として、一億一千六百九十九万九千円を計上しました。

総合体育館では、池田公園多目的グラウンド人工芝生化新設工事を実施し、快適なスポーツ環境の整備を図り、誰もがそれぞれの体力や年齢、目的に応じていつでもどこでもスポーツに親しみ、健康で活力に満ちた生涯スポーツ社会の実現を目指して取り組んでまいります。これらに関する予算として二億九千百

九十二万一千円を計上しました。

図書館では、図書館資料の充実、読書普及活動の推進を図る啓発事業を進めてまいります。これらに関連する予算として八千五十万二千円を計上しました。

次に、国民健康保険特別会計についてご説明申し上げます。

業務内容としては、保険料率の決定、賦課・徴収等を行い、平成三十年度から国保運営の中心的な役割を担う県に納付金を納め、医療給付費等の支払業務や、生活習慣病対策である特定健康診査事業を実施してまいります。これらに関する予算として二十一億九千九百万円を計上しました。

次に、後期高齢者医療事業特別会計についてご説明申し上げます。

市町村の事務としては、岐阜県後期高齢者医療広域連合への負担金の納付や、保険料の徴収、各種申請・届け出の受付などの窓口業務を行ってまいります。保健事業につきましては、ぎふ・すこやか健診や、ぎふ・さわやか口腔健診などを実施してまいります。これらに関する予算として三億三千八百万円を計上しました。

次に、農業集落排水事業特別会計についてご説明申し上げます。

農業集落排水事業につきましては、七処理区が供用されており、生活環境の向上と公共用水域の水環境の再生・保全に寄与しております。これら処理施設の維持管理に関する予算として三億八千万円を計上しました。

次に、公共下水道事業特別会計についてご説明申し上げます。

公共下水道事業の池田処理区は、平成十五年四月から供用開始され令和三年度末には、六百十六ヘクタールが整備され、進捗率は九十二・四%となります。

本年度は、萩原地域及び上田地域にて管渠布設整備を進めてまいります。また、令和四年一月末現在で接続率は約五十九・八%の状況であり、公共マスへの接続を積極的にお願ひし、接続率の向上に努めてまいります。池田浄化センターでは、適正な維持管理や運営に心掛け、健全経営に努めてまいります。これらに関する予算として七億一千百万円を計上しました。

次に、温泉施設特別会計についてご説明申し上げます。

池田温泉は、平成八年の本館開業以来、二十五年が経つ中、その泉質の良さから、数々のテレビ・雑誌などメディアで紹介され、東海だけでなく関西方面からも利用者が訪れる温泉として高評価を得てまいりました。しかしながら、令和四年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が想定される中、今まで以上に安心して安全な施設運営に配慮しつつ快適な空間の提供に努めるとともに、利用者数減を補う新たな取り組みとして温浴関連商品の通信販売による販路開拓を積極的に進めて売上げ増を目指してまいります。また、入浴料金改訂の効果が少しずつ現れ始めたところではありますが、更なる接客サービスの向上に努め、年間利用者数三十七万人の目標達成と経営の安定化を目指してまいります。

主な事業内容としましては、本館駐車場照明制御盤取替工事を行います。また、入浴利用者総数一千二百万人達成イベントや本館・新館周年記念イベントのほか、季節ごとのイベントなど工夫をこらしたソフト事業も実施してまいります。これらの予算として二億六千万円を計上しました。

次に、小水力発電事業特別会計についてご説明申し上げます。

小水力発電事業は、農業水利施設の持つ再生可能なエネルギーの有効活用と農業施設の維持管理費軽減と低炭素社会づくりに寄与するため、平成三十年四月より稼働し、四年を経過しましたが、今後も適切な維持管理に努め、効率的な施設利用を進めてまいります。これらに関する予算として八百万円を計上しま

した。

次に、水道事業会計についてご説明申し上げます。

水道事業は、将来にわたって安定的に事業の継続が必要不可欠なライフラインであるため、経営の効率化を進めつつ、安全、安心な水を供給するために、施設の維持管理、更新に努めてまいります。これらに関する予算として収益的収入に三億八千五百五十四万円、収益的支出に三億二千五百七十四万九千円、資本的収入に六億三千六百九十一万五千円、資本的支出に七億六千八百八十五万三千円をそれぞれ計上しました。

以上、議第十三号から議第二十号まで一括提案申し上げます、令和四年度の町政に取り組む施政方針及び、一般会計・特別会計並びに企業会計予算の提案説明と致します。